

3月定例会

議員提出議案	会派名									議決結果
	新	公	共	民	ネ	羽	21	風	世	
ヒブワクチン、子宮頸がんワクチン、肺炎球菌ワクチン等の定期接種化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

陳情	審査した委員会	会派名									本会議の結果
		新	公	共	民	ネ	羽	21	風	世	
「個別説明前に全体図を示したくない施行者」に関する陳情	経済	×	×	○	×	○	×	×	×	○	不採択
Hib ワクチン公費負担に関する陳情書	厚生	△	△	△	△	△	△	△	△	△	趣旨採択
国民健康保険に関する陳情書	厚生	×	×	○	×	○	×	×	×	○	不採択
「羽村市小中一貫教育基本計画」に係わる陳情書	総務	×	×	○	△	○	△	△	×	○	不採択

◆会派名◆

新：新政会市民クラブ 公：公明党 共：日本共産党 民：民主党 ネ：市民ネットワーク「いきいき広場」
 羽：羽村クラブ 21：羽村21 風：新しい風 世：世論
 ★各会派の所属議員については、13ページの会派名簿をご覧ください。
 ★各会派の賛否：(議案) ○=賛成、×=反対 (陳情) ○=採択、×=不採択、△=趣旨採択
 ★議長は本会議の表決には加わりません。

議決結果一覧

1月臨時会

市長提出議案	会派名									議決結果
	新	公	共	民	ネ	羽	21	風	世	
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
羽村市長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

3月定例会

市長提出議案	会派名									議決結果
	新	公	共	民	ネ	羽	21	風	世	
平成22年度羽村市一般会計予算	○	○	×	○	×	○	○	○	×	原案可決
平成22年度羽村市国民健康保険事業会計予算	○	○	×	○	×	○	○	○	×	原案可決
平成22年度羽村市老人保健医療会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成22年度羽村市後期高齢者医療会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成22年度羽村市介護保険事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成22年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計予算	○	○	×	○	×	○	○	○	×	原案可決
平成22年度羽村市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成22年度羽村市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
羽村市長等の給料等に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
職員の給与に関する条例及び羽村市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
羽村市生涯学習基本計画審議会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
羽村市福祉センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
羽村市学童クラブ条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
羽村市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	○	○	×	原案可決
羽村市営駐車場条例	○	○	×	○	×	○	○	○	×	原案可決
平成21年度羽村市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成21年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成21年度羽村市老人保健医療会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成21年度羽村市後期高齢者医療会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成21年度羽村市介護保険事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成21年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計補正予算(第4号)	○	○	×	○	×	○	○	○	×	原案可決
平成21年度羽村市下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成21年度羽村市水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
東京都後期高齢者医療広域連合の葬祭費事務の委託に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

議会の活動

議会・議長の主な活動を報告します。この他にも議長・各議員は、担当する委員会等に関する会議等に出席しています。

*平成22年2月1日～4月30日の主な活動です。

4月27日(火)	4月12日(月)	4月9日(金)	3月26日(金)	3月19日(金)	3月18日(木)	3月17日(水)	3月16日(火)	3月11日(木)	3月10日(水)	3月5日(金)	3月4日(木)	3月3日(水)	3月2日(火)	2月24日(水)	2月23日(火)	2月22日(月)	2月19日(金)	2月18日(木)	2月17日(水)	2月16日(火)	2月10日(水)	2月9日(火)	2月8日(月)	2月3日(水)	2月1日(月)	
関東市議会議員会第2回理事会・第76回定期総会	会監事会	平成21年度三多摩上下水及び道路建設促進協議会臨時総会	東京都市議会議員会理事會・臨時総会	第4回議員全員協議会	第2回羽村市議会定例会(議案審議)	第3回議会運営委員会	予算審査特別委員会	第1回厚生委員会	第1回経済委員会・第1回総務委員会	第2回羽村市議会定例会(議案審議)	第2回羽村市議会定例会(一般質問)	第2回羽村市議会定例会(一般質問)	平成22年西多摩衛生組合議会第1回定例会	平成22年第1回青梅、羽村地区工業用水道企業団議会(定例会)	平成22年第1回福生病院組合第1回定例会	ま広域資源循環組合議会定例会	第2回議会運営委員会・平成22年第1回東京た	東京都市議会議員会理事會・定期総会	羽村市基地対策特別委員会要請行動	会定例会	平成22年第1回羽村・瑞穂地区学校給食組合議	西多摩地域広域行政圏協議会審議会	第48回東京都市議会議員研修会	全国市議会議員会第88回評議員会	全国市議会議員会基地協議会第73回総会	東京都市議会議員会理事會・臨時総会

平成22年度予算審査

一般会計

平成22年度予算の審査にあたり、議長を除く17人の議員で構成される平成22年度一般会計等予算審査特別委員会（委員長：中根康雄議員、副委員長：水野義裕議員）を設置しました。
3月16日、17日、18日の3日間にわたり慎重に審査を行った結果、8件の予算をすべて原案どおり可決しました。

平成22年度一般会計の歳入歳出予算の総額は200億7千万円で、前年度と比較して9億5千万円（5.0%）の増額となりました。これには「子ども手当」による増額分を含んでおり、「子ども手当」分を除くと、予算額は約193億6千万円、前年度と比較して1.2%の増加です。
予算審査特別委員会では活発な討議がされ、賛成意見3件、反対意見3件が出されました。
審議の結果、一般会計は原案のとおり可決しました。

	22年度	21年度	増減額	増減率	審議結果
一般会計予算総額	200億7千万円	191億2千万円	9億5千万円	+5%	可決

賛成

各部各課の努力、工夫が見られる

本予算案について、市民参画はどう担保されているか、それをどう市民にフィードバックしていくか、予算の合理化、効率化が図られているか、格差の是正にどうセーフティネットを張り弱者の自立につなげられるか、地球温暖化対策や環境対策をどう雇用や税収につなげることができるか、少子高齢化にどう対応するかを審査した。
厳しい財政状況の中、子ども手当等の民生費に重点を置き、各部各課の努力・工夫が見られ、職員給与の見直しなど緊急財政対策の一定の効果が見てとれる内容になっている。区画整理の規模の見直しやさらなる経常経費の削減を求めて賛成の意見とする。

世界的な経済危機が市財政を直撃し、大幅な市税収入の減少が予測される中ではあるが、できる限り市民生活に影響を与えないことを主眼に編成された。
歳入は、市民税法人分が前年比43%も減少し、財政調整基金を8億4千万円取り崩すという将来の財政運営上の困難さを覚悟したうえでのもとなった。
歳出の主なもの、駅前パトロールセンター設置等の市民の安全・安心を守る施策、緊急雇用対策の充実等の市内産業の育成、「赤ちゃん・ふらっと事業」等の子育て環境の充実等があり、市民福祉の向上とにぎわいのあるまちづくりが確認でき、賛成できる。

市民福祉充実とにぎわいのあるまちづくりを確認

賛成

賛成

収支のバランスの維持に苦勞して組まれた予算

経済不況の影響を強く受け、収支のバランスを維持していくために苦勞して組まれた予算である。財政が大変な時こそ、教育予算を削減するのではなく、未来への投資として財政投入すべきものと考えます。
今後も決して容易ではない財政運営において、大胆な事業評価、事業仕分けの実施でさらなる事業の見直しを望む。さらに新たな産業の創出、企業に羽村市に来てもらうための環境整備や観光振興の強化などで、にぎわいのあるまちづくりを強力にそして速やかに押し進めていきたい。

平成22年度予算は、市税の減収から臨時財政対策債や基金の取り崩しで補うという実質赤字の中で、市民生活に影響を与えぬよう編成したという。
しかし、小中学校の副教材費や防災用品費の削減、動物公園駐車場の有料化など市民負担は増大。一方で、西口区画整理事業への繰入金増加、土地権利者の会への補助金30万円のように特定の団体への優遇が目立つ。
区画整理を進めると、私の試算では15年後には起債残高240億円、毎年の返済は20億円を超え、財政破綻を招きかねない。市民生活を守り、将来世代にツケを回さぬためにも平成22年度予算に反対する。

将来世代にツケを回さないように

反対

反対

市民にしわ寄せを押し付けるもの

羽村市の市民税法人分は過去最高時に約19億円あったのが、21・22年度は4億6千万円程度まで落ち込み、22年度は市民税個人分は約2億円の減収見込みとなつている。
私たちは、西口区画整理は一時停止し、西口地区の整備は住民の合意で金のかからない必要最小限の整備計画を練り直すべきと主張してきた。
しかし、22年度予算は西口区画整理は聖域化しながら、市民へは「国保税の値上げ」「いこいの里、じゅらく苑の高齢者入浴事業の削減」「小中学校の副教材費の10%削減」「連絡所の時間短縮」などのしわ寄せを押しつけるものとなつている。

平成22年度は、市民税の大きな落ち込みを背景に、厳しい予算編成となつている。23年度も市税等の回復が望めない中、羽村駅西口区画整理事業には一般会計から3億4千264万円も繰り出されるので、反対である。商工会補助金は4千741万円も予定され、多摩地区最高額であり、さらに見直しが必要である。負担金・分担金では、一部見直しがなされ、たが、天引きや陳情目的が疑われる団体もあり、さらなる精査が求められる。公共施設の維持管理や、産業福祉センターの事業委託の見直しなど評価できるが、反対の多い西口区画整理への繰り出しをやめ、貯金を崩さず借金を控える予算にすべきである。

貯金を崩さず借金を控える予算にすべき

反対